



2013-2014

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 2R4Z

西条

9
No. 435

SAIJO LIONS CLUB

Topics

第23回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会開催
8月第1例会に新会員1名入会



2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会会長



パリー・J・バーマー

テーマ

夢を追いかけよう

2013-2014 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

松 前 龍 宗

スローガン

ときめく 明日へ WE SERVE

キーワード

「真価發揮」



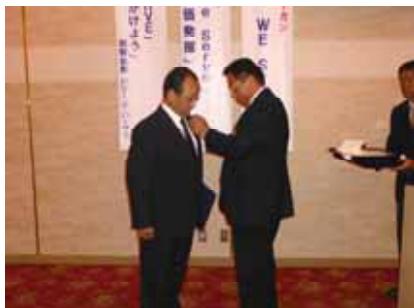
2013-2014 年度 2R4Z 西条ライオンズクラブ会長

原 育 雄

スローガン

人と大地に優しく WE SERVE

8月第1例会、入会1名



先月の7月第1例会での新会員2名の入会式に続き、今月も1名の入会式を執り行う事ができました。今期に入ってはや3名の増強となります。奉仕の心を同じくする仲間が加わり、クラブもますます活気づきますね。

新会員御挨拶



L. 武智正人



この8月第一例会に於いて、西条ライオンズクラブに入会させて頂きました。

勉強不足でまだ何も解りませんが、オリエンテーションと初回の例会では、時間と約束の厳守、互いに感謝し、祝福しあう心を勉強させて頂きました。

歴史と信用あるこの会への入会を認めて下さいました事を誇りに、皆様のご迷惑にならないよう頑張りますので、どうかお願ひ申し上げます。



地区ガバナー公式訪問

PR・ライオンズ情報・大会参加担当委員長 村瀬 文隆

地区ガバナー公式訪問が8月4日に新居浜市のユアーズで行われました。2リジョン内17クラブより、それぞれ約10名の参加がありました。西条LCからは原会長・神野ZCをはじめ徳増ZCA、安藤前会長、高橋幹事、伊藤（正）会計、伊藤（修）委員長、植木委員長、寺尾委員長、寺川委員長と私の11名が参加しました。

献血・献眼の講演から始まり5時間の長丁場でしたが、松前ガバナーの熱いスピーチは大変印象に残りました。他では、各クラブの活動状況の報告がありました。主な内容は、会員拡大と支部作りについてでした。西条LCは他のクラブと比較して会員の定着率が高いクラブだと思います。

その一因は、高い例会参加率だと思います。参加率の資料もありましたがリジョンでNo.1です。昨年もそうだったと記憶していますが、大変誇らしく思いました。

懇親会は委員会別のテーブルで、私のテーブルは各クラブのPR広報委員長のテーブルでした。各クラブでそれぞれ役割が違うようで、違う役割もあるとはいえた会報誌の発刊が年に1回のクラブがあることには驚きました。楽しみにしていただけるような会報誌にしていきたいと改めて思いました。



地区ガバナーはじめ、キャビネット役員の方々



神野顕彰4ZCより挨拶

ガバナーより各クラブ会長へキャビネットバナとバッヂの授与

例会出席優秀賞金賞 アワードを受賞し続けるクラブとして。。。

L. 安藤憲正

毎年、例会出席優秀賞金賞を頂きましてありがとうございます。当クラブの出席率の高さの具体的な理由がなかなか見当たりません。あえて挙げるなら、

1点目は年間行事の日程や内容があらかじめ定まっているので、早くから各自の予定に組み込んでおけること。

2点目は企画・計画段階でいかに紛糾しようと方向が定まれば全会員が同じ方向を向き「成しとげよう」と協力できるクラブの本質がもたらすもの。そのように感じています。

今後もこのクラブの良さを代々引き継いでいけるように、若手の委員長を経験豊かな会員が支えるというかたちをとりながら、金賞受賞にふさわしい活動を続けてまいりたいと思います。





【第23回西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会】

スローガン 「輝く栄光に向かって がんばろう！」

L. 盛實正人

新しい横断幕「西条ライオンズカップ中学生ソフトテニス大会」を背景に、8月11日(日)東予運動公園テニスコートに於いて原育雄会長の挨拶で第23回目となる伝統ある大会が開催されました。今年の大会参加数は、西条市内の全中学校1・2年生総数316名(「男子」85ペア 170名、「女子」73ペア 146名)と昨年と同規模の大会となりました。

当時は、日本列島連日の猛暑で、高知で最高気温40℃超える暑さの中、1・2年生の区分なくトーナメント方式で開催され、1年生は2年生に力の差を魅せつけられ、また2年生は前年の屈辱から大きく成長しての試合運びで熱戦が繰り広げられました。

大会会場では、2年生が1年生を指導したり励ましたりとスポーツの素晴らしさを目にすることができ、中学生の日々成長している姿を一球一球に見ることができます。

第23回目のライオンズカップの大会成績は、下記のとおりとなっています。



- 【 優勝 】 堀川昂暉・丹下幸翼 (河北中学校)
- 【 準優勝 】 山本敬大・森川智仁 (東予西中学校)
- 【 3位 】 塚本峻也・越智陽登 (東予西中学校)
- 【 3位 】 佐伯 亮・徳永雅希 (西条南中学校)



- 【 優勝 】 井出ひなの・森永華帆 (東予東中学校)
- 【 準優勝 】 野口愛加・石原侑佳 (東予東中学校)
- 【 3位 】 川原光梨・山下祥花 (西条西中学校)
- 【 3位 】 中平玲奈・越智日菜子 (丹原東中学校)



皆さんからお預かりした優しい気持ちが 電子メトロノームとなって南三陸町の 子供達の手に届きました



プレゼントした
電子メトロノーム10個

西条ライオンズクラブ

毎日、暑い日が続いているですが、お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、当クラブと西条ボーカルで、東日本大震災の募金活動を行いました。ボーカルの少年少女達が、大声で呼びかけを続け、集めた募金の中からこのメトロノームを購入しました。御活用ください。猛暑だつたり豪雨だつたりと、不安定な気候が続きます。どうぞお元気で、ますますの御活躍を祈念いたします。

2013年8月



遠藤水華里先生からのメッセージを御紹介します

電子メトロノームを子供達に渡せたのが、夏休み明けの八月末だったので、お礼のお手紙が遅れています。

私も含めて、全員が大喜びです。ピアノコンクール等にも持つて行けるし、みんなで洋服につけると、バツチみたいで、『仲間のしるし』みたいなようで楽しいです。

コンクール会場で、あのメトロノームを付けている子供達は、仲間で、西条ライオンズクラブのミニ会員として活動するみたいで、楽しくなりますよね♪

また、多めに来たので、中三になる男の子にも渡しました。彼は、仮設住宅に住んでいて、勉強する部屋は浴室だそうです。合唱コンクールの伴奏をする為に、ピアノを習いに来ています。年頃の男の子が、一畳もないような所で生活している・・・、まだそんな状態です。

でも、皆様の優しさや思いやり、そして諦めずにやり遂げるという、素晴らしいさを伝えていきたいと思い、4月の講演会の中で話をさせていただきました。

私が勝手に、子供達を「西条ライオンズクラブのミニ会員」にしちゃいました。

【南三陸支部】

昨夜、ニュースで新居浜や四国中央市が大変だと知りました。西条市は大丈夫ですか？めっちゃ心配しました。会長と委員長に、西条市を御案内していただいた時に、水害とかについても聞いていましたので、私は心配性なもので、「もしや・・・」と思つてしましました。

被災がきっかけで知り合った越谷の方の御実家が竜巻で被災してしまったり、島根県の方達が水害にあつたり、絶対に大丈夫なことは、この世にないですからね。でも、あつてはならない事ですが、皆さんに何かあつたら。私は駆けつけます。子供達からの手紙は、来週あたりには送れると思います。ありがとうございました。ありがとうございました。

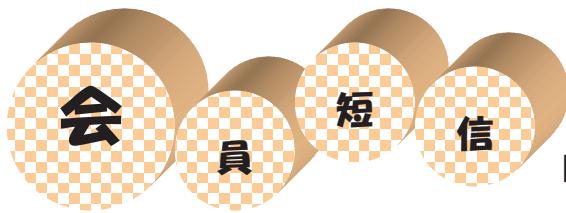
東日本大震災被災地である、
南三陸町遠藤ピアノ教室の子供達。

送った電子メトロノームと一緒に撮った写真
を送つてきました。

去年の夏、西条ライオンズクラブとの出逢いを「奇跡」だと言ってくれたのが心に残っています。

これからも大好きなピアノを楽しんで、穏やかな気持ちで、また、たくましく成長して欲しいと願います。





【 イチロー選手に学ぶ 】

L. 塩崎己年夫

先般、8月22日テレビでイチロー選手が日米通算4000本安打を達成、史上3人目とニュース速報が大きく流れ、驚きと感動をしました。イチロー選手の大偉業に日本人として、尊敬と誇りとするもので、私だけではない、全国民の喜びとするものです。

4000本安打を達成し、ピートローズ（4256本）、タイ・カップ（4171本）のエリートクラブの仲間入りを果たし、永年にわたって一貫したプレーを続けてきた努力の積み重ねがあってこそその結果だと思います。

先日のインタビューの中で「誇れることは何でしょう？」と質疑がありますと、イチロー選手は「4000本ヒットを打てたのは、僕の数字で言うと、8000回以上は悔しい思いをしてきたことです」と言っていました。1920年にジョン・シスラー選手が打ち立てた、誰も破ることが出来なかったシーズン最多安打のメジャー記録（257安打）をイチロー選手は見事に塗り替え、262安打を達成しました。

日本もアメリカも沸き立ちました。野球に詳しいとは言えない私も、感動と関心をいたしました。
あれから6年、またまた大記録を達成したのです。

なぜ、イチロー選手はこれほどまでに凄いことができたのでしょうか。

大きな理由の一つとして、野球関係者は「動くものを正しく識別する超人的な動体視力」を挙げ、「イチロー選手にはボールが見えている。どんな球が来るか、正確に見極めることができる」と言っています。イチロー選手は、小学校3年生時、地元の少年団野球部員となり、昼間は野球の練習、夕食後は父と共に毎日、バッティングセンターに通い続けたそうです。それだけではありません、帰り道、高速道路を走る車のナンバープレートや運転している人の服装を正しく確認する訓練にたっぷり時間をかけて、動く物体を的確にとらえることを鍛えたとのことです。

時速140キロから150キロを越える、猛スピードで飛んでくるボールと、広い球場に配置された相手チーム選手の全てを一瞬のうちに的確にとらえることができなければ、狙いどおりの球は打てない。

厳しい訓練と努力の積み重ねに耐え、人並み外れた集中力が、世界中の人が見守る極限状態の中で発揮し、誰もできなかつたことをやってのけたと言えるのではないでしょうか。

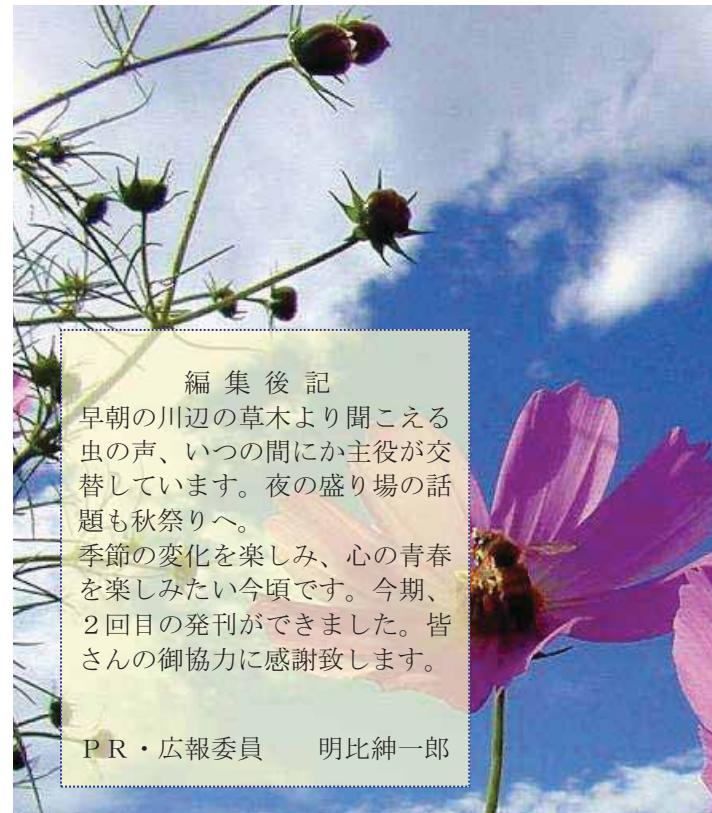
又、先日のテレビインタビューで、イチロー選手が冒頭に書いた快挙を振り返りながらゆっくりとした口調で、こう言っておりました。

「小さな積み重ねがあって、頂上に昇ることができたのだと思います」と自信に満ちた表情で語っていました。

この言葉を聞いて私は、“毎日毎日懸命に努力する者、懸命に働く者。人生はけっして裏切らない”

と胸にしみいました。

最後に、皆様の益々のご活躍とご繁栄を心より祈念申し上げます。



編集後記

早朝の川辺の草木より聞こえる虫の声、いつの間にか主役が交替しています。夜の盛り場の話題も秋祭りへ。季節の変化を楽しみ、心の青春を楽しみたい今頃です。今期、2回目の発刊ができました。皆さんの御協力に感謝致します。

P R ・ 広報委員 明比紳一郎

発行者 会長 原 育雄
幹事 高橋雅顕
PR・広報委員長 村瀬文隆
編集委員 明比紳一郎・塩出正照・國田経仁・伊藤 稔
野間賢次郎・合田直司・伊藤隆治

例会日 每月 第2・第4火曜日 (12:30~13:30)
例会場 西条国際ホテル
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO



西条ライオンズクラブ

Tel 0897-0030 愛媛県西条市大町 771-1
西条国際ホテル1F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
<http://saijo-lions.org>